

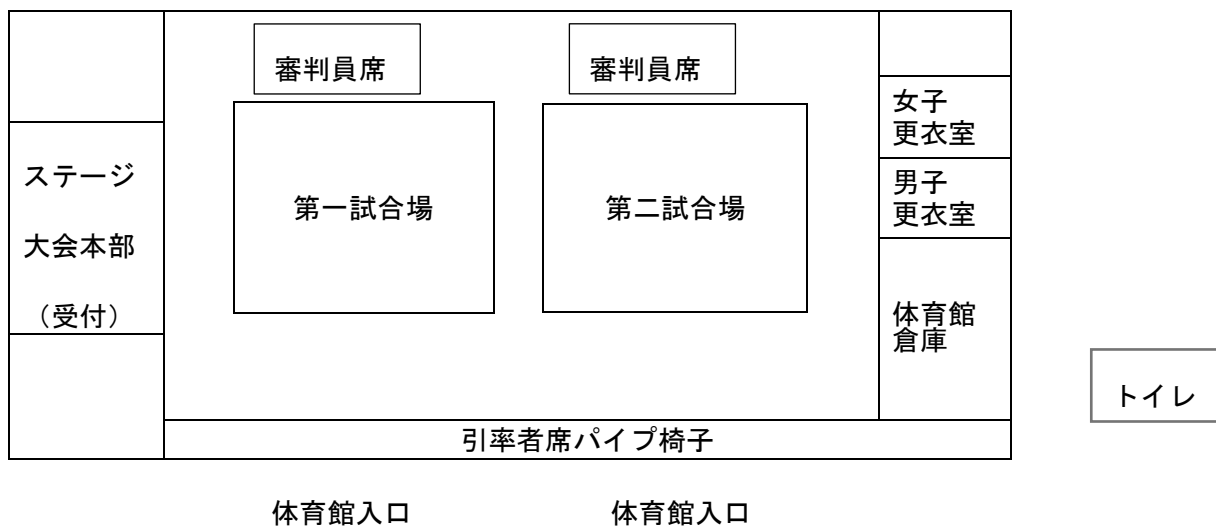
# 令和5(2023)年度 東京都第11ブロック中学校 秋季剣道大会新人大会 男女別団体戦

東京都中学校秋季剣道大会新人大会（男女別団体戦）予選会

令和5(2023)年10月15日(日) 東大和市立第二中学校体育館  
東大和市南街3-60-4 ☎042-561-2328 担当 亀澤祐浩

8:00 開館  
8:30 受付開始（体育館ステージ本部）  
審判員・顧問打合せ  
9:00 諸連絡  
開会式  
試合開始（9:30予定）  
試合終了（13:00見込）  
閉会式（13:00見込）  
15:00 片付け清掃・退館  
16:00 役員係員解散・閉館

前日会場準備 15:00  
東大和市の中学校生徒、  
大会役員



- ・会場校到着後、体育館西側(校庭の逆側)より入館してください。
- ・更衣室等で更衣、荷物は更衣室または体育館倉庫に置く。会場が狭いのでお互いに気遣って気持ちよく使用できるようにご協力ください。
- ・トイレは、体育館を出て、外履きで後方の外トイレを使用して下さい。
- ・団体戦名表（団体戦は模造紙縦置きで横4分の1(女子は支部名の下に赤ライン加筆)）を受付へ提出して下さい。
- ・紅白目印(襷)、  
名札(ゼッケン、「中」の文字入り)、  
「マウスシールド(一体型は認める)」か「面マスク」のどちらかを必須、  
アイガードは任意です。
- ・感染拡大防止に引き続きご協力ください。

主催 東京都中学校体育連盟第11ブロック  
主管 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校剣道部

整列、竹刀及びサポーターチェック  
試合具確認、諸注意

開会式 司会 本多 華子  
開式  
来賓挨拶  
優勝旗返還 男子団体：田無一中  
女子団体：日体大桜華中  
大会実行委員挨拶 亀澤 祐浩  
審判長説示 須田 和也  
選手宣誓 村上千祥 (日体大桜華中)

整列

閉会式 司会 本多 華子  
成績発表 小暮裕佳里  
(優勝・準優勝・第三位・都大会出場権獲得)  
表彰  
審判長講評 須田 和也  
閉式

1. 主催 東京都中学校体育連盟第11ブロック  
主管 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校剣道部
2. 役員 会長 金子 哲朗 (足立区立江北桜中学校長・東京都中学校体育連盟会長)  
11ブロック長 小川 高弘 (東久留米西中学校長)  
各支部長 新野健太郎 (東村山四中校長) 佐久間 豊 (青嵐中校長)  
立川 裕 (東大和一中校長) 堀内 雅之 (清瀬五中校長)  
小川 高弘 (東久留米西中校長) 榎戸千代子 (武蔵村山五中校長)
- 剣道部長 木村 孝治 (日野一中・東京都中学校体育連盟剣道部長)  
第11ブロック剣道競技責任者 亀澤 祐浩 (東大和二中)  
各支部剣道競技専門委員 須田 和也 (東村山四中) 村瀬 諒 (日体大桜華中)  
本多 華子 (明保中) 菅原 将人 (武蔵村山四中)  
小暮裕佳里 (武蔵村山一中)  
亀澤 祐浩 (東大和二中・東久留米清瀬兼任)
- 大会実行委員長 亀澤 祐浩 (東大和二中)  
審判長 須田 和也 (東村山四中)  
救護 小暮裕佳里 (武蔵村山一中)  
会計 菅原 将人 (武蔵村山四中) 小暮裕佳里 (武蔵村山一中)  
記録 小暮裕佳里 (武蔵村山一中)  
賞状・賞品・獲得証 菅原 将人 (武蔵村山四中)  
お昼手配 菅原 将人 (武蔵村山四中) 小暮裕佳里 (武蔵村山一中)  
会場準備・片付け 大会役員、東大和一二三中、桜凜会  
※試合会場他準備 大会前日に会場校が中心となって行う(15:00～ ご協力お願いします)  
※片付け 大会終了後、大会役員、係役員・補助係員の全員で行う
- 本部・会場 岩崎 浩示 (東大和二中長) 亀澤 祐浩 (東大和二中)

審判主任・審判員・補助係員

①10月15日(日) 男女別団体戦 東大和二中全会場

	第一試合場	第二試合場
審判主任	細川 梨絵(日体大桜華中)	本多 華子(明保中)
審判員	谷澤 洋一(武蔵野大学中)	下村 聖二(武蔵野大学中)
	菅原 将人(武蔵村山四中)	中村 元則(杉並区剣連)
	山口亜沙美(東大和市剣連)	宮崎 茂樹(東大和市剣連)
	勝山 文也(練馬高)	山崎 智裕(東村山市剣連)
	亀澤 祐浩(東大和二中)	須田 和也(東村山四中)
補助係員	桜凜会 (9名)	

※自校生徒選手の試合については主審を行わない

3. 方法
- ・新人大会のため中学1、2年生(該当する学年)のみの選手とする。
  - ・男子団体戦・女子団体戦ともにオープン参加とし、男子は予選リーグ及び決勝トーナメント方式、女子は総当たりのリーグ戦方式とする。都大会出場決定戦を行う。男子団体は大会上位の3チームを、女子団体は大会上位の2チームを第11ブロックの代表として都大会に推薦する。

#### 4. 規則

- ①全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、同運営要領、及び、日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項・東京都中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項、各連盟よりのガイドラインや通達、及び本大会申し合わせ事項による。
- ②試合時間は3分間三本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。団体戦の場合は、勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は総得本数が多いチームを勝ちとし、勝者数得本数ともに同じ場合は引き分けとする。団体リーグ戦の場合、勝ち1点、引き分け0.5点、負け0点とし、勝ち点で、勝ち点と同じ場合は総勝者数で、総勝者数も同じ場合には総得本数により順位を決定する。勝ち点、総勝者数、総得本数が全て同じ場合は、登録7名の任意の選手による代表戦(3分間一本勝負、延長は時間無制限)にて決する。団体トーナメント戦では勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は得本数が多いチームを勝ちとする。勝者数得本数も同じ場合は登録7名の任意の選手による代表戦を行う(3分間一本勝負、延長は時間無制限)。ただし昨今の社会状況を鑑み、延長の場合は時間無制限ではなく2分間ずつ時間を区切り、延長三回目終了時に適宜休憩を入れる。
- ③竹刀は、長さ114cm以内、重さ男子440g・女子400g以上、太さは先端部最小直径男子25mm以上・女子24mm以上、ちくとう部最小直径男子20mm以上・女子19mm以上とする。つば9cm以内、先皮5cm以上とする。先細竹刀や不正に細工したものは禁止する。柄革は滑り止め(ゴム等)や模様等の無い無地のもので白色とする。不正な竹刀を使用した場合は二本負けとする。事前に竹刀の手入れを行っておくこと。
- ④面紐の長さは結び目から40cm以内、目印の長さは70cm以内とする。面乳革は大きさ、色、模様も含めて華美にならないようにし、黒色または紺色とする。黒塗りにした面金などではなく通常の配色の面を使用すること。
- ⑤足袋やサポーター、コルセット、テーピング等を使用する際は審判主任に申し出て許可を得ること。足袋やサポーター類については、滑り止めのための革やゴム等を使用していないものとする。ただし、指先単独でのテーピングについては、申し出は不要とする。
- ⑥選手は黒または紺地に白字、白地に黒字で校名と姓を記した『名札』を着用し、名札には必ず『～中』の文字が入っていて一枚袋であること。名札のない選手、不備の選手(校名の縫いつけ、『～中』の文字がない等)は失格とする。大会までに間に合わない場合は事前に相談すること。
- ⑦ベンチ入りできる者は、選手・補員・監督・監督補佐のみとする。
- ⑧「安易に左拳を中心線から外す防御態勢(変形な構え等の防御態勢)」をとった場合は、一回目は合議の上「指導」、二回目以降は合議の上「反則」とする(公正を害する行為)。試合中の「かち上げ」「振り倒し」等の危険かつ見苦しい暴力的行為は慎むこと。
- ⑨ベンチ内への時計やフロアへの撮影機器の持ち込み等は禁止する。
- ⑩登録オーダーの変更は、補員以外とはできない。組み替えも不可とする。一度退いた選手は、それ以降の試合には出場できない。
- ⑪3人でチーム編成する場合は「中・副・大」に、4人でチーム編成する場合は「次・中・副・大」とし、後ろ詰めにすること。大会当日選手の不参加により5人に満たなくなったチームは、選手の登録順は変えずに後ろに詰めること。この場合、当日に団体戦名表を新たに書き換えること。大会当日途中で怪我などより棄権になった場合も同様にする。
- ⑫3人チーム4人チームと対戦する場合は、自チームの不戦勝(二本勝ち)の者を任意に決め、残りの選手を登録順通りに後ろ詰めにして試合を行う。審判主任に確認すること。
- ⑬その他については大会当日開会式にて審判長もしくは大会実行委員より説明する。
- ⑭合同チームについては、秋季大会のみ認められている。
- ⑮引率者、監督、監督補佐については各学校で正式に認められた者とする。
- ⑯保護者の車で来校は控えること。近隣のコインパーキングを利用すること。
- ⑰感染症感染拡大防止の取り組みとして、以下のような対応を予定する。変更や追加がある際には、各校にファックスやホームページ掲載等で周知し顧問会時と大会当日の開会時に説明する。
  - (1) 男女同時に受付し、同時に開会する。男子試合場と女子試合場の二つの試合場で同時進行とする。
  - (2) 試合者はマウスシールドか面マスクどちらかの装着を必須とする。併用や一体型シールドは認める。
  - (3) 試合者のアイガードの装着は任意とする。
  - (4) 試合者の待機時における面マスクの着用については、任意(試合者個人及び保護者の判断)とする。
  - (5) 開会から休憩をとらずに閉会まで行う。閉会後に喫食を行う学校のためにしばらく体育館を開放する。喫食をとるとらないは各学校の判断とする。
  - (6) 見学応援については、試合に出ない剣道部員及び剣道部員の保護者のみ(学校関係者のみ)とし、マスクの着用は任意とする。
  - (7) 応援は拍手のみとする。
  - (8) 審判員は審判時にはマスクをはずす。大会役員、審判員、係役員、補助係員、係生徒はマスクの着用を任意とする。
  - (9) 全日本剣道連盟ガイドライン・東京都剣道連盟ガイドラインに従い、「暫定的な試合方

法」試合者は鏢競合いを避ける。やむを得ず鏢競合いになったときは、ただちに引き技を出すか、速やかに分かれることを継続する。

- (10) 開会時に審判長より説明し反則行為の共通理解を図る。本大会においては選手への指導も兼ね、審判が積極的に注意する。
- (11) 会場校の負担軽減のため、個人で使用する消毒用品などは各校各自で持参すること。
- (12) 選手及び補員、監督、監督補佐、顧問、各学校が認めた引率者、見学生徒、生徒の保護者、大会役員、審判員、係役員、補助係員、係生徒のみ入場可とする。一般の入場は認めない。
- (13) 敗退したチーム（生徒）は、決勝戦まで見学する場合でも閉式後の密を避けるため速やかに着替えること。

5. 表彰 優勝(賞状・賞品)、 第二位(賞状・賞品)、 第三位(2チーム・賞状・賞品)、  
都大会出場権獲得証  
※団体優勝は持ち回り優勝旗

6. 大会当日各校で準備するもの

- (1) 団体戦名表
- (2) 紅白目印
- (3) 名札

東大和二中
亀澤
祐

(名札)

27cm

西東京市	先	次	中	副	大
明保中	菅原	本多	須田	本多	小暮
		真		華	

(団体戦名表) 模造紙 4分の1 79cm

- ・白模造紙 4分の1
- ・同姓の選手がいる場合は名前の一文字まで
- ・女子は支部名の下に赤アンダーラインを引く

7. 注意
- ・会場内で、試合待機中においては、ソーシャルディスタンスを常に意識し感染拡大防止に努めること。態度が乱れぬよう各校で自覚すること。会場校に迷惑がかからないようにすること。
  - ・ビン、缶、ガムや菓子類の持ち込みは禁止する。違反した場合は失格の場合もある。保護者からの差し入れなども同様とする(自粛すること)。
  - ・外履きは各自で靴袋などに入れ、防具袋やカバンなどに保管すること。屋内でのキャスターの使用は禁止する。雨天の場合の傘についても同様に袋に入れること。整理整頓を心掛け感染拡大防止に努めること。
  - ・貴重品は各自(各校)で管理し責任を持つこと。
  - ・審判員は全剣連指定の服装(紺ブレザー・白ワイシャツ・えんじネクタイ・グレースボン・紺靴下、女性審判員もこれに準じた服装)を着用すること。監督、監督補佐、引率者もこれに準じた服装とする。ただし、天候を考慮し開会時に審判長よりブレザーやネクタイの着用の有無をアナウンスする。
  - ・保護者の会場校への自動車駐車はできません。近隣のコインパーキングをご利用下さい。
  - ・公共交通機関、特に路線バスを利用する際は節度を持った行動を心掛けること。
  - ・大会当日の体調不良等による欠席の場合は、受付時間に連絡をお願いします。
  - ・大会役員、審判員、係役員 の先生と、補助係員のみ昼食を用意する。

8. その他 ・東京都中学校体育連盟剣道部ホームページ「<https://ctrtokyokendo.jp>」も定期的に参照ください。  
※ 秋季都大会申し込みについて(ホームページに掲載)

- ① 10月23日(月)申込締め切り、24日(火)が各支部(市)剣道専門委員による責任抽選になります。期日までに、各支部剣道専門委員または11ブロック剣道競技責任者東大和市立第二中学校 亀澤祐浩(2070014 東大和市南街3-60-4 T042-561-2328 F042-590-7029)まで持参もしくは郵送すること。
- ② 必要な書類を事前に見込みで作成し、10/15(日)の第11ブロック大会当日持参し、都大会出場権を獲得したらその場で提出というかたちがスムーズです。
- ③ 「合同チーム申請書」について、第11ブロック大会にて申請された用紙をそのまま都大会でも申請します。再度の申請書の提出は不要です。
- ④ 団体戦は監督が必須となります。ご注意ください。

※ 都大会では竹刀の検量(重さ、長さ、ちくとう部の直径、つば、先皮、中結の位置、ささくれ、弦、たるみ等)が検査され、合格し検印された竹刀だけが使用を認められます。

※ 第11ブロック中学校剣道部では顧問同士の情報の共有を図るためにグループラインを活用しています。是非、ご参加ください。

※ 令和6(2024)年3月3日(日)午後東大和二中において、第11ブロック中学校剣道研修会(錬成会(練習試合)形式)を予定しています。年明け2月になりましたら、要項をホームページに掲載します。

※ 現行では春季大会(団体戦のみ)・夏季大会(個人戦と団体戦)・秋季大会(団体戦のみ)にて大会運営をおこなっていますが、第11ブロックの現状を考え、春季と秋季にも個人戦を復活するかの検討を始めています。正式には令和6年4月の東京都第11ブロック中学校剣道部顧問会にて決議することになりますが、ご意見などありましたら事前にうかがいたいと思います。各支部の剣道専門委員またはブロック剣道競技責任者までお伝え下さい。

令和5年度 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校秋季剣道大会新人大会  
女子団体戦

トーナメント表リーグ戦表等の数字は試合番号(試合場-試合順)をあらわす  
試合場を移動しても試合番号は変えないこと  
チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)  
大きい方が白(主審の左側)

大会当日に怪我や発熱などで選手が三人に満たなくなった場合でもチームの敗退(勝ち点0)は  
確定した状態ではあるが本大会申し合わせ事項により残った選手で試合を行う

二重線枠が都大会出場校

女子	リーグ	日体大桜華	武蔵村山一	東村山四七	武蔵野大学田無一	明保	勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	日体大桜華中	—	—	—	—	—					
2.	武蔵村山一中	—	—	—	—	—					
3.	東村山四・七中③	—	—	—	—	—					
4.	武蔵野大学・田無一中④	—	—	—	—	—					
5.	明保中	—	—	—	—	—					

試合番号(試合場-試合順)	リーグ	赤	白
1-3		日体大桜華中	明保中
1-4		武蔵村山一中	武蔵野大学・田無一中④
1-5		東村山四・七中③	明保中
1-6		日体大桜華中	武蔵野大学・田無一中④
1-7		武蔵村山一中	東村山四・七中
1-8		武蔵野大学・田無一中	明保中
1-9		日体大桜華中	東村山四・七中③
1-10		武蔵村山一中	明保中
1-11		東村山四・七中③	武蔵野大学・田無一中④
1-12		日体大桜華中	武蔵村山一中

トーナメント  
3(7) 2(4)代 1(3)代延  
勝者数(得本数)

リーグ  
勝ち 負け 引分

○ △ □

—  $\frac{7}{3}$  — 得本数  
勝者数

— 5 —

令和5年度 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校秋季剣道大会団体戦  
男子団体戦

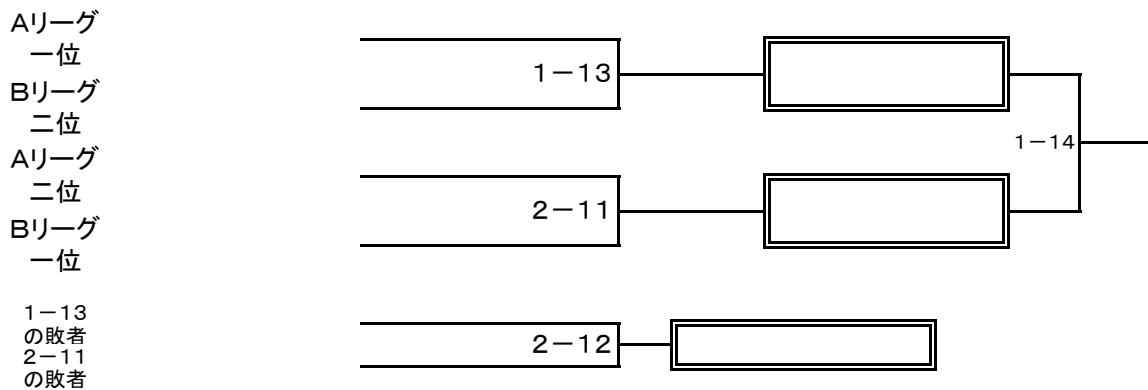
トーナメント表等の数字は試合番号(試合場一試合順)をあらわす  
試合場を移動しても試合番号は変えないこと  
チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)、大きい方が白(主審の左側)  
女子の進行状況に合わせて試合場の移動をおこなう  
大会当日に怪我や発熱などで選手が三人に満たなくなった場合でもチームの敗退(勝ち点0)は  
確定した状態ではあるが本大会申し合わせ事項により残った選手で試合を行う

二重線枠が都大会出場校

Aリーグ	予選リーグ	明保	明治学院	東村山一五七	武蔵村山一	勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	明保中	—	—	—	—					
2.	明治学院中	—	—	—	—					
3.	東村山一五七中④	—	—	—	—					
4.	武蔵村山一二中③	—	—	—	—					

Bリーグ	予選リーグ	武蔵野大学	田無一	東村山四	武蔵村山四	勝ち点	勝者数	得本数		順位
5.	武蔵野大学中	—	—	—	—					
6.	田無一中	—	—	—	—					
7.	東村山四中④	—	—	—	—					
8.	武蔵村山四中③	—	—	—	—					

試合番号(試合場一試合順)	リーグ	赤	白
※1-1	B	武蔵野大学中	武蔵村山四中
2-1	A	明保中	武蔵村山一二中③
※1-2	B	田無一中	東村山四中④
2-2	A	明治学院中	東村山一五七中④
2-3	B	武蔵野大学中	東村山四中④
2-4	A	明保中	東村山一五七中④
2-5	B	田無一中	武蔵村山四中③
2-6	A	明治学院中	武蔵村山一二中③
2-7	B	東村山四中④	武蔵村山四中③
2-8	A	東村山一五七中④	武蔵村山一二中
2-9	B	武蔵野大学中	田無一中
2-10	A	明保中	明治学院中



トーナメント  
3(7) 2(4)代 1(3)代延  
勝者数(得本数)

